

現在、好生館では、当館で保管する検体・診療情報等を使って研究を実施しています。この研究は倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、実施しています。

研究の詳細についてお知りになりたい、またはこの研究に対して利用・提供してほしくないと思われた際には、好生館の問い合わせ担当者までご連絡ください。

<p>【研究課題名】 胃底部～胃体上部大弯の内視鏡治療における右側臥位 Push 法の有用性についての単施設後方視的研究</p>
<p>【研究対象者】 対象患者は 2012 年 1 月より 2020 年 12 月までの期間に、胃底部から体上部大弯に病変があり、右側臥位 Push 法にて当館で内視鏡的治療を行った方</p>
<p>【利用している検体・診療情報等の項目】 性別、年齢、既往歴、内服歴、採血データ (WBC, Hb, BUN, Cr, CRP)、内視鏡所見 (病変の部位、サイズ、内視鏡的治療方法)、偶発症 (治療後出血・穿孔・肺炎など) の有無、入院後経過、入院期間、退院後 1 ヶ月以内の経過</p>
<p>【利用の目的】 上記情報より、経過が良好な方と不幸な転帰を辿る可能性が高い方の事前予測を行う方法を検討します。</p>
<p>【研究について】 遺伝子解析研究 (有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 営利企業との共同 (有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/></p>
<p>【利用期間】 承認後～2023 年 12 月 (予定)</p>
<p>【佐賀県医療センター好生館 研究責任者及び問い合わせ担当者】 研究責任者：消化器内科 富永 直之 問い合わせ担当者：消化器内科 富永 直之 対応可能時間：平日 9 時～16 時 電話：0952-24-2171 (代表) Eメール：rinsho@koseikan.jp(臨床試験推進部)</p>